

中村・杉本選手 大活躍

金・銀メダル獲得



(右 中村さん・左 杉本さん)

第二十三回全国身体障害者スポーツ大会(かりゆし大会)が、去る十一月十四日・十五日の二日にわたり沖縄県那覇市で華々しく開催されました。本大会は身体障害者の「国体」とも呼ばれるもので、全国各地よりそれぞれの障害別にスポーツの精鋭が集い、競い合い又、ふれあいの輪を広げる場でもあります。

成績は次のとおりです。
◎障害急歩 一位 中村 清
◎砲丸投げ 二位 杉本公介
◎走幅跳び 二位 杉本公介
◎全身スポーツ大会に想う

中村 清

真っ青な空、点々と浮ぶ白い雲、十一月というのに真夏の気候の中で開催されたこのかりゆし大会に選手として出場した私達ですが、初めての沖縄、そして大会への心の動揺、そんな不安を抱いて羽田から出発しました。しかしこれらの不安は沖縄に到着と同時に消え去りました。

めんそーれ沖縄、めんそーれ沖縄、沖縄県へようこそいってらっしゃいました、の歓迎。それはもちろん観光客にも又他の公的行事にしろそうした歓迎ぶりはある事でしょうけれど、それはそれとして、なんとこの心暖かく情け深い歓迎であろうか。
まわりには同僚も居れば、他県の選手も居ますが、その心からのもてなしぶりは私一人にふるまってくれているのではないかと思う程親しみを感ずきました。
それは全選手が同様に感じたのではないのでしょうか。

「さあここがあなたの競技する場所ですよ、ためらうことなく存分に技を発揮して下さい。」と云っているように思えて遠く沖縄県に居ることを忘れて地元にいるような気さえしました。その親しみのある沖縄県の皆様の心に接した時大胆にプレーする事が出来、成績も上々で二日間の競技も終りました。

大会の終わった二日目の夜は後夜祭といって全選手と大会開催地の皆さんが一同に会して親睦を深める催しですが、その会場で二度とない、又たくても出来ない貴重な体験が出来ました。思いつきり障害者ぶりを発揮しました。又反面障害者である事を忘れさせてくれました。

日常生活においては自ら障害者意識があつては生活は成り立ちません。ですからそれを忘れて大変緊張した生活が強いられる訳ですが、全国身スポ大会こそ日常ハンデのある生活の中で鍛えた技を発揮出来る場であり、又自分は「障害者ですよ」といつて一生に一度大いに甘える事の出来る場であるように思いました。そして今後の生活の中に大いに役立つ経験をさせて下さった市に感謝申し上げます。

その大会も終り帰路の空港で選手全員で六日間お世話になったコンパニオンの方々と友情の涙に浸り沖縄を後にしました。
市内の障害者の皆さんが一人でも多くこのように貴重な体験が出来ます様スポーツに励み県大会、そして全国大会へと希望と勇気をもって挑戦していただきたく願ひながら終りに関係者皆様方の御配慮に心からお礼申し上げます。感想の一筆と致します。

心身障害児者巡回相談

精神薄弱又は身体に障害を持つ方々のために、県身体障害者更生相談所、都留児童相談所等の専門職員が出張相談を行います。相談は無料で秘密は厳守されます。
日時 1月27日(水)
午前10時～午後3時

相談員

都留市文化会館3階
身体障害者福祉司
整形外科医師、心理判定員、神経科医師、児童相談所専門職員、公共職業安定所担当官等

問合先

市福祉事務所
☎(43)1111

都留診療所 からの お知らせ

自治医科大学消化器外科講師白倉外茂夫医師が十二月一日から都留診療所長として就任いたしました。
所長就任に伴い、当診療所では、三名の医師により次の通り内科・外科の診療を行っております。

診療日・診療科目 内科・外科

曜日	月	火	水	木	金	土
午前	一診	白倉	白倉	白倉	村田	山田
	二診	村田	山田	山田		
午後		白倉	白倉		村田	

曜日	受付時間
月・火・金	午前 8時30分～11時まで 午後 1時～3時まで
水・木・土	午前 8時30分～11時まで